

## ゆり組

### — 2学期の目標 —

- ◎ 秋の自然に触れ、興味を持ち始める
- ◎ 積極的に友だちと関わり、相手の気持ちを考えたり協力したりすることで集団遊びを楽しむ

### — 活動内容 —

#### お芋ほりに行きました！

(協同性 自然との関わり・生命尊重 思考力の芽生え 豊かな感性と表現 言葉による伝え合い 数量や図形標識や文字などへの関心・感覚)

- ・ 雨天の為、ドライブでお芋の様子を見に行く。
- ・ 雨の日の街並みを楽しみながら、コスモス畑や、虹を見つけてお友だち同士喜びを分かち合う姿が見られる。
- ・ 翌日バスに乗って畑へ行き、芋ほりをする。
- ・ 約束事を聞き、芋ほりを始める。
- ・ 「大きい芋たくさんとる！」「どっちがたくさんとれるか競争しよう！」など期待をもって嬉しそうに話をしていた。
- ・ とれたお芋を嬉しそうに友だちや保育者に見せあう姿が見られる。
- ・ お芋の形や数を数えたり大きさを比べたりと、興味津々でお芋を観察している。
- ・ 虫が苦手で泣いてしまう子どもや中々掘れずに困っている子どももいた。保育者や友だちと協力して掘ることができると嬉しそうに「できた！」という姿が見られた。
- ・ 持ち帰ったお芋を皆で洗い、きれいな紫色になると「おいもになった！」「もっとしたい！」と繰り返しごしごし洗っていた。



#### 芋ほりのえをかいたよ！

(健康な心と体 協同性 思考力の芽生え 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 自然との関わり・生命尊重 言葉による伝え合い)

- ・ 芋ほりの時の話を皆で話し合い、思い出したことを口々に発表する。
- ・ 黒のクレヨンで色を塗らずに楽しかったところを思い出しながら描く。
- ・ 芋や葉っぱをたくさん描いたり、幼虫やスコップを描いたりとのびのびと情景を思い出しながら描いている。
- ・ 描いていた絵に絵の具で色を塗り、「お芋かきすぎた～！」「土はふわふわだったよね」「長靴は〇色！」と嬉しそうに話していた。
- ・ 描き上げた絵を友だちと見せ合い、感想を伝え、「次の芋ほりはきくぐみさんになったらだね」と期待をもって話している姿が見られる。
- ・ 給食で掘ったお芋を皆で食べる。「あまい！」「おかわりある？」と嬉しそうに食べていた。



### — 2学期の反省 —

- ・ 秋の自然に触れ、どんぐりや木の実、枯葉を見つけ、戸外での遊びものびのびと過ごしていた。
- ・ 友だち同士の関わりの中かで、気持ちのぶつかり合いもあるが自分たちで話し合っ解決しようとし、状況をみて友だち同士のトラブルを仲介しようとする姿が見られる。
- ・ 強い言葉や強い口調をしてしまうことが増えており、「ちくちくことば」「ふわふわことば」についての話、優しい言い方・怖い言い方について考える時間を作るようになってきた。

### — 3学期の目標 —

- ◎ 自分の気持ちを言葉で表現し、それを認めてもらいながら、お友だちの考えや良い部分にも気づいていく。
- ◎ 様々な素材を使って友だちと一緒にイメージを膨らませながら製作する楽しさを味わう。